

# モーニングセミナー 2

第34回日本緑内障学会

## 緑内障治療アップデート 2023

Glaucoma Treatment Update 2023

### 座長



たにと まさき  
谷戸 正樹 先生

島根大学医学部眼科学講座  
教授

- 1996年：島根医科大学医学部卒業
- 1996年：島根医科大学医学部眼科助手
- 1999年：京都大学大学院医学研究科特別研究学生
- 2003年：日本学術振興会特別研究員・京都大学ウイルス研究所研究員
- 2004年：日本学術振興会特別研究員  
・オクラホマ大学ヘルスサイエンスセンター眼科研究員
- 2006年：島根大学医学部眼科講師
- 2014年：松江赤十字病院眼科部部长
- 2018年：島根大学医学部眼科学講座教授  
現在に至る

### 座長のことば

2021年秋に緑内障診療ガイドライン第5版が先行出版され、2022年には、新たな薬剤としてRhoキナーゼ阻害薬と $\alpha 2$ 受容体作動薬の合剤が、手術治療としてプリザーフロと内視鏡的毛様体光凝固用カテーテルが登場しました。新しい治療は、実際に少数例から施行され、より広い臨床的評価を経ることで、どの程度一般化するかが決まります。レーザー治療としてそれなりに長い歴史を持つ選択的線維柱帯光凝固術について、その早期適応の位置づけが近年ようやく固まりつつあるのが一つの例です。本セミナーでは、前半で、我々が現在行う事ができる緑内障治療オプションの位置づけについて、今後の展望も含めて解説します。後半では、主としてチューブシャント手術が不成功となるような難治性緑内障でも眼圧下降が期待できる手術として登場した内視鏡的毛様体光凝固術(ECP)について、適応から実際の手技を含んで解説します。本セミナーで2023年の緑内障治療の方向性を確認頂ければと思います。

### 緑内障外科的治療 Update

#### 演者1



しょうじ たくへい  
庄司 拓平 先生

埼玉医科大学 眼科  
客員教授・小江戸眼科内科  
院長

- 2002年：防衛医科大学校医学部卒業
- 2004年：陸上自衛隊大久保駐屯地医官・千原眼科医員
- 2008年：防衛医科大学校病院 専門研修医
- 2012年：埼玉医科大学 眼科 講師
- 2016年：米国UCSD ハミルトン線内障センター 客員研究員
- 2019年：埼玉医科大学 眼科 准教授
- 2022年：埼玉医科大学 眼科 客員教授・小江戸眼科内科 院長  
現在に至る

### 内視鏡的毛様体光凝固術(ECP)の実際

#### 演者2



たにと まさき  
谷戸 正樹 先生

島根大学医学部眼科学講座  
教授

#### 日時

2023年 9月9日(土)  
8:00 ~ 8:50

#### 場所

第3会場  
虎ノ門ヒルズフォーラム  
5F ホールA4

第34回日本緑内障学会への参加には、参加登録が必要です。

7月31日(月)まで、早期割引を実施しております。

参加登録ページの  
QRコード

